



広報

No.238

～ 文教のまち西原 ～

にしはら

町の世帯・人口

(平成3年10月末現在)

世帯数	8,020戸
人口	26,441人
男	13,531人
女	12,910人

10月の人口移動

出生	40件	死亡	10件
転入	72件	転出	81件
婚姻	16件	離婚	2件

編集・発行/西原町役場企画課(広報係) 西原町字嘉手苅112番地 ☎098(945)4533 印刷/(協)丸正印刷



として保存すると便利です。

主な内容

二面・三面まつり特集
四面・五面まつり受賞者
六面・庁舎建設
七面…きのこ時計
八面…戦没者追悼式
九面…児童館まつり
十面…シリーズ
十一面…区の紹介
十二面…学進協
十四面…女性コーナー

“燃えました” 西原まつり

一躍動する わったあーまち にしはらーをテーマに、第8回西原まつりが、11月9日・10日(2日間)西原東中学校で開催されました。

西原まつりは、2年に1度の開催のため、町民がとても楽しみにしている行事です。特に今回は、ヤングフェスティバルなど新しい催し物を加え、子どもから老人まですべての町民がふれあい、町内外から多くの参加者でにぎわいました。

(関連2・3・4・5面へ)

21世紀を創造する人間性豊かな「文教のまち西原」

写真特集

西原東中学校



▲リズム感の良さには、
ため息が出ました。



▲初出場の町保育連絡協議会の
子どもたち



▲老人クラブの集団演技はちびらあさぬ



▲息がぴったり小波津の棒術



ミス西原の三嬢

▲左からミスサワフジ、ミスブーゲンピリア、
ミスマリニア



▲婦人会の団体演舞は心を引きつけました。



▲お色気いっぱいの
子ども琉舞



▲力が入った綱引き競技

▼県内でも高レベルの西原高校吹奏楽部



西原まつり

11月9日(土)、10日(日) 会場



▲力強い内間エイサーは西原の誇りです。



▲我謝の獅子はふどうまぎい(長身)です。



▲婦人パワーには圧倒されました。



▲いつでも満員だった咲盛座は、昔のうちの雰囲気でした。



▶まつりは新川千代子さんのお陰です。



▲カチャーシー大会の前にハイポーズ!



▲作品展示会場テープカットのもよう



▼手の込んだみごとな作品がずらり



▲たくさんの観衆で大にぎわい



▲あっという間に終わった苗木の無料配布

二十歳の義務 年金加入で青春にカンパイ!

絵画

幼稚園の部

〔金賞〕あらかきはやと(西)

〔銀賞〕ほかまみか(西)

〔幼〕おもしろよしと(東幼)

〔銅賞〕うえちりか(坂幼)

なかもとちか、ひがあさみ

〔東幼〕佳作 あはれんたく

み、よなみねよしや(坂幼)

しんざとゆうき、たいらりゅう

(西幼)

小学校の部

(一年)

〔金賞〕おおさきあきひろ

〔東小〕〔銀賞〕さきやまみず

き(坂小)、おくまさとし(東小)

〔銅賞〕うえちひとみ、

こめすきよあき、みなみだい

すけ(西小)、〔佳作〕あさと

あきら、きしもとゆき、さく

だよしの(坂小)、あらかきゆ

うき、たまなはたもつ、ひらや

すまさ(西小)、あさとまり

の、おもしろかつあき(東小)、

きんじょうたいき(三育小)

(二年)

〔金賞〕ぐしけんまきこ(西)

〔銀賞〕はざままこと

(坂小) みやぎとなお(西小)

〔銅賞〕いとかずかつひろ、

へしきともえ、ましきあさみ

(東小) 〔佳作〕かみだあず

さ、すえよしえりな、よなみ

ねかおり(坂小)くによしま

なみ、しんざといよ、なかま

えり(西小)、もろみざとけい

(東小)、わたなべりゅういち

(三育小)

(三年)

〔金賞〕屋良明奈(東小)、

〔銀賞〕比嘉香織(坂小)、大

城まきみ(西小)〔銅賞〕安里

昌則(西小)、大城香苗(東小)

名渡山大輔(三育小)〔佳作〕

呉屋千夏、玉城早矢香、保菜

茂佑太(坂小)、新垣智佳子、

小谷依子、宮平大作(西小)

国吉愛美、堀田ちひろ(東小)

西原まつり

展示部門受賞者

(おめでとぅーございます)

(四年)

〔金賞〕稲福仁美(坂小)

〔銀賞〕与那嶺美穂(東小)

泉川辰哉(三育小)〔銅賞〕金

城さおり、沢田えり子(坂小)、

宮村欣寿(東小)〔佳作〕高橋

麦、比嘉政史、前川和久、与那

城悟(西小)、下地大輔(東小)

(五年)

〔金賞〕池宮城久子(坂小)

〔銀賞〕安里さとみ(坂小)

久手堅泉(東小)〔銅賞〕新

垣太一(坂小)、玉城春菜、登

野原慶(東小)、〔佳作〕石原

春奈(坂小)、古波蔵淳、末吉

いつき、屋良聖子、寄川香織

(西小)、呉屋篤(東小)、米須

由美子(三育小)

(六年)

〔金賞〕福原大樹(坂小)、

〔銀賞〕平敷兼貴(坂小)、玉

那覇寛子(東小)〔銅賞〕金城

みどり、根間武斗(坂小)、喜

久川寛信(東小)〔佳作〕伊

波絵理香、玉那覇香(西小)、

井上涼茶、寄川孝廣(東小)

平七(三育小)

〔中学校の部〕

(一年)

〔金賞〕重森誠仁(東中)、

〔銀賞〕城間成高(西中)、川

満慶(東中)〔銅賞〕崎山伊知

子、米盛由起子(西中)、森屋

啓子(東中)〔佳作〕呉屋善

太、識名円(西中)、泉川律子

数田真弓、幸地克張、仲松弥

広(東中)

(二年)

〔金賞〕仲宗根語(西中)、

〔銀賞〕長瀧礼香、又吉早八

香(琉附中)〔銅賞〕喜友名

三和、浜川由紀枝(東中)、与

那嶺咲子(琉附中)、〔佳作〕

安和良樹、城間尚哉(西中)、

新里竜也、玉那覇美咲(東中)

儀間和沙(琉附中)

(三年)

〔金賞〕呉屋昌邦(西中)

〔銀賞〕当真僚子(西中)、宮

良善太(東中)、〔銅賞〕玉城

京子、前田美紀(東中)、金城

和香子(琉附中)、〔佳作〕喜

屋武聡子、儀間幸(西中)、下

地晶子、知念リカ、山本和正

(東中)、斉藤由乃、玉元真樹

知花安希子(琉附中)、

〔高校の部〕

(一年)

〔金賞〕洲鎌美奈子、〔銀賞〕

江田久美子〔銅賞〕古波蔵靖

〔佳作〕新垣貴雄、伊波達也

小川洋乃、狩俣朋美、渡久平綾

子、仲宗根小夜子、東里ゆかり

(二年)

〔金賞〕與那嶺綾乃、〔銀賞〕

與儀喜代野、〔銅賞〕喜屋武

真弓、〔佳作〕大城和志、喜

納睦樹、新城礼乃、高橋あず

さ、棚原誠、宮城美華、屋良

有妃子、與那嶺綾子

〔書道・半紙〕

(小学校の部)

(一年)

小)、〔銀賞〕いはまもる(坂

小)、たまきはるな(西小)、

〔銅賞〕たくしめゆき(坂小)

にしはらふみえ(西小)、たま

きゆうこ(東小)、〔佳作〕さ

くだゆうこ(坂小)、やまざと

たかし(西小)、たかもりゆき

(東小)

(二年)

〔金賞〕やまざとだいつけ

(西小)〔銀賞〕いそがわとも

こ(坂小)、あさとよりえ(東

小)、〔銅賞〕はなしろふくこ

(坂小)、みやひらわかな(西

小)、しんざとさやこ(東小)、

〔佳作〕いしめみか(坂小)

ぐしけんまきこ(西小)、しん

ざとまちこ、しんざとゆみこ

(東小)

(三年)

〔金賞〕下地美南子(坂小)

〔銀賞〕屋嘉比朝美(坂小)

与那嶺彰准(東小)、〔銅賞〕

仲宗根梨江(坂小)、高森清華

(東小)、新垣英紀(三育小)、

〔佳作〕城間香菜子(坂小)、

安里静華、大田安信、平良理

香、仲原亜利沙、屋比久卓、

(西小)、喜久川貴史、宮里

弘子(東小)

(四年)

〔金賞〕崎山悠希(西小)

〔銀賞〕平敷兼人(坂小)石

川倫子(東小)、〔銅賞〕仲宗

根舞(坂小)、伊江直美、小橋川奈代(西小)、「佳作」国場睦美(坂小)、大見和也、桃原奈々(西小)安里直美、田港朝之(東小)、筒井洋智(三育小)

(五年)

〔金賞〕喜瀬芳野(東小)、

〔銀賞〕仲村早苗(坂小)、前

川三賀子(西小)、「銅賞」呉屋

幸恵、比嘉いづみ(西小)、石橋

藏衛(三育小)、「佳作」新垣

牧子、上原しま子、太田大之

(坂小)、糸数敏幸、仲村玲依

子、宮平麻希(西小)、米須香

織、新里紀佳、仲地孝幸(東小)

(六年)

〔金賞〕國場絵梨子(西小)、

〔銀賞〕喜納咲子、比嘉聖子

(坂小)、「銅賞」松永幸子、

與那城雄司(西小)、喜瀬明日

香(東小)、「佳作」天久涼子

田中織江(坂小)、富山泰臣、

与那城瞳(西小)、有田さとみ、

玉那覇直美、渡嘉次麻紀(東

小)、新垣優里香(三育小)

(中学校の部)

(一年)

〔金賞〕川端理恵(東中)

〔銀賞〕小鍋廣美、玉城真鶴

(東中)、「銅賞」伊波真、金

城幸男、与那嶺真弓(東中)

〔佳作〕崎間達紀(西中)、南

風原裕子(東中)

〔金賞〕川田みどり(琉附中)

(三年)

〔金賞〕川端真樹子(東中)

〔銀賞〕新里利浩(東中)、喜

屋武直美(琉附中)、「銅賞」

知花李枝、当真僚子(西中)、

玉那覇英人(東中)、「佳作」

又吉寿乃(琉附中)

(高校の部)

〔金賞〕伊波妙、「銀賞」新

垣仁美、小波津奈々子(銅賞)

儀間理奈、佐和田美恵、玉城

珠代、「佳作」島袋優、下地

牧乃、城間優子、与那嶺和也

書道・条幅

(小学校の部)

(一年)

〔金賞〕ごやつかさ(東小)

〔銀賞〕おかむらしようご、

しろまただし(坂小)、「銅賞」

にしはらよういちろう(坂小)

ちなみつき、やびくみか(西

小)、「佳作」あめくなつみ、

たまなはしろうじ、へいあ

なちなつ、やまざとりさ(西

小)、たかもりゆき(東小)、な

かざとかずや(三育小)

(二年)

〔金賞〕はなしろちひろ(坂

さとあいり(西小)、「銅賞」

おながこういちろう、きなじ

ゆんこ(坂小)、いげいさとこ

(西小)、「佳作」さきはまい

ちえ(坂小)、うえまゆかこ、

たいらみゆき、みやひらのぞ

み、やまざとしようこ、やま

ざとなおこ(西小)、あかみね

わかこ、かりまたなごみ、き

やんざとえ(東小)

(三年)

〔金賞〕岡村直美(坂小)

〔銀賞〕金武翔子、玉城梅納

(東小)、「銅賞」下地さくら

(坂小)、宮城昌太(西小)、松

本千佳(東小)、「佳作」喜屋

武香苗、外間幸代(坂小)、梅

川由夏、宮城知里(西小)、比

嘉剛二(東小)

(四年)

〔金賞〕識名舞(坂小)、「銀

賞」奥間かおり、佐久川菜月

(東小)、「銅賞」小波津陽(坂

小)、仲松千明(西小)、照屋真

奈美(東小)、「佳作」喜名梓

(坂小)、伊芸梓、井出清香、

比嘉千夏、平安名佐枝(西小)

(五年)

〔金賞〕小渡正子(東小)

〔銀賞〕城間いづみ、仲里め

村恵子、宮平麻希、寄川香織

(西小)、有田めぐみ(東小)

(六年)

〔金賞〕小波津道弘(坂小)

〔銀賞〕宮国勝博(西小)、玉

那覇茜(東小)、「銅賞」崎原

涼子、佐久本拓美、森山幸坂

小)、「佳作」立津優香、玉城

綾乃、徳嶺朝子(西小)、知念

さつき(東小)

(中学校の部)

(一年)

〔金賞〕川端理恵(東中)、

〔銀賞〕識名円(東中)、上間

真紀(琉附中)、「銅賞」徳田

亮(西中)、玉城真鶴(東中)、

宮城健(琉附中)、「佳作」大

湾真寿美、喜屋武幸子(西中)

具志江里香(東中)、大川綾子

新里倫子(琉附中)

(二年)

〔金賞〕城間峰子(西中)

〔銀賞〕川満志乃(西中)、橋

本由香(琉附中)、「銅賞」小

波津朋子、宮城さゆり(西中)

我那覇美幸(琉附中)

(三年)

〔金賞〕玉那覇英人(東中)

〔銀賞〕平良千秋(西中)、新

垣香織(東中)、「銅賞」宮国徳

(優秀賞)チンゲンサイ与那城

義則、キュウリ・比屋根和憲

(農協長賞)キュウリ・比屋

根和憲

〔優秀賞〕パイヤジャム・

仲宗根政子、にがうりの甘酢

漬・澤岬静子、大根酢漬・与

那嶺キヨ

(農協長賞)大根酢漬・与那

嶺キヨ

〔優秀賞〕アランセーター

上江洲利佳、ログキャビン・

翁長珠代

(農協長賞)ログキャビン・

翁長珠代

花き・盆栽

(優秀賞)ガジュマル三点・

玉那覇勝一、カトレア・呉屋

健一

(農協長賞)カジュマル三点

玉那覇勝一

老人作品

(手工芸)砂川ヨシ、新川フ

ミ、伊波精吉、西原ツル、比

嘉茂子、小川カマド、仲宗根

史子、大城八重子、上地千代

子、呉屋利子、平安ウト、城

間千代、翁長ナへ、小波津信

子、玉那覇エイ子

微生物の農業利用を

町農業振興懇談会

―本町の「明日をめざす都市近郊農業」の未来像をあらゆる角度から見つめ、問いかけ、今後の農業振興について懇談しよう―と、町農業振興懇談会が、十月二十三日午後二時から、町中央公民館で開催されました。

懇談会では、主催者を代表し町長職務代理者の小川助役が、西原町の農業における現状と課題について問題提起し



活発な意見交換が行われた。(円内が比嘉照夫氏)

た後、比嘉照夫氏(琉球大学農学部教授)による「都市型農業をめざして」と題する基調講演が行われました。

比嘉氏は講演の中で「これからの農業は①体によいもの②経済性があること③誰でもできるもの④自然破壊をしないもの⑤人口が増えても供給できるもの(五つのハードル)」が必要。そのためには、ヘラ

一本で農業ができる微生物の農業利用が最適である」と述べました。

その後、農業関係者四人による意見発表が行われ、基盤整備の促進や専門技術指導者の設置、後継者育成の問題点などの指摘があり、フロアーからの質疑や助言者の指導も受けるなど、活発な意見交換が行われました。

新庁舎建設を検討

町庁舎建設検討委員の委嘱状交付式及び第一回庁舎建設検討委員会が、十月二十八日午後二時から、役場会議室で行われました。

本町は、地理的特性により、人口が急増し、都市化傾向を強めていることと、復帰を境に行政事務の質・量が深化・拡大するとともに住民の価値観の多様化等により、行政需要も増加してきました。

これらに伴って、職員も増え、事務スペース不足が進み、本庁舎からの分離配置、改装等が繰り返されるなど、分散化されたことで行政サービス

の低下や行政事務の執行支障を生じている状態にあります。

また、現庁舎も雨漏れや亀裂が生ずるなど増改築も限度にきていることから、新庁舎建設を検討することになりました。

十八人の委員に委嘱状が交付された後、池田孝之氏(琉球大学教授)が委員長に選ばれました。

同検討委員会は、今後、町庁舎建設基本構想を策定し、答申する予定。

なお、庁舎建設検討委員会委員名は次の通り。(敬称略)

なお、意見発表者や指導助言者は次の通り。(敬称略)
▽意見発表、宮平定昌(町農業協同組合長、新川常順(町農業委員会農地小委員長)新里泰久(農業青年代表)、新垣實(生産者代表)▽指導助言者、比嘉照夫(琉球大学農学部教授)、新城豊子(中部農業改良普及所長)、小川良夫(町助役)

▽委員長・池田孝之▽副委員長・小川良夫▽委員・比嘉清一、比嘉昭幸、新川康之、与那嶺義雄、與那嶺浩、玉城政光、平敷静男、呉屋定子、城間期一、呉屋安信、下地郁子、伊川幸子、大城助徳、宮平正和、玉那覇三郎、與儀博彦。(任期は二年)



委嘱状交付式のもよう



元気よく発表

第12回西原地区小中学校童話・お話・意見発表大会が、11月8日午後、坂田小学校体育館で開かれました。

これは、町PTA連絡協議会(新川雅樹会長)が主催するもので、この活動を通して表現力の養成に努め、言語教育の発展に資するためのもの。

町内の小・中学生から選ばれた16名の発表者から、最優秀賞6名(低学年の部・高学年の部・中学生の部男女各1名)が選ばれ、中頭地区大会へ推せんされました。

なお、最優秀賞に選ばれた方は次の通り。

▷低学年の部・がじゃたけし、渡久地本子(西小)▷高学年の部・渡慶次司、玉城春菜(東小)▷中学校の部・金城吉嗣(西中)、外間めぐみ(東中)



小波津が第1位に

町婦人連合会(下地郁子会長)では、一明るい環境づくりを進め、住みよい地域づくりを図ろうと、環境美化コンクールをこのほど開催しました。

今回の審査は、①遊び場や拝所等の清掃及びゴミ処理の状況②道路や排水溝などの清掃③緑と花いっぱい運動の地域への広がり④公民館の清掃などを対象に行いました。

10月14日の最終審査の結果、小波津が第1位に選ばれ、本町代表として中部地区環境美化コンクールへ推せんされました。

なお、審査の結果は次の通り

第1位・小波津、第2位・嘉手苅、第3位・小波津団地、第4位・幸地、第5位・西原ハイツ



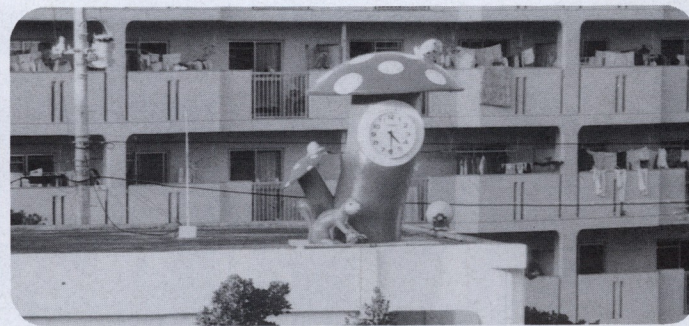
西原南小に宮城義昇校長就任

11月1日付け、県教育長から人事異動の発令があり、それを受けて同日午後、町役場敷地内で町立西原南小学校開校準備室の事務所開きが行われました。

事務所開きでは、来年4月開校に向けて、諸準備をすることになった宮城義昇校長・比嘉幸吉教頭・事務主事の阿嘉あけみさんらが紹介されました。

就任にあたって宮城校長は「希望した西原町へ配属され喜んでいると同時に、責任の重大さを感じています。また、『文教のまち』の名に恥じないよう頑張りたい。新設校なので特色ある学校をつくりたい」と述べました。

工事も着々と進み、来年は力強いスタートができるものと期待されています。



きのこ時計がシンボルに

内間団地自治会(脇弘幸会長)では、ふるさと創りをテーマに区民のアンケート調査や懇談会等を重ねた結果、時計を設置することになりました。このため自治会事務所の屋上へ、きのこ時計の建設をすすめていたが、このほど完成し、11月8日午前、除幕式が行われました。

あいさつの中で仲松勤ふるさと創り副委員長は「みんなでシンボルを創ろうと、子ども達の気持ちをとらえアニメ的にデザイン化した。子どもたちがふるさとを自慢し、誇れるようになってほしい」と話していました。



三町村親善ゲートボール大会

西原ライオンズクラブ(下地巖会長)主催、老人クラブ親善交流ゲートボール大会が、10月21日午前、中城村吉野浦公園で開かれました。

三町村(中城村・西原町・与那原町)からそれぞれ8チームが参加し、日頃の練習の成果を競いました。みんな真剣そのものでした。

なお、結果は次の通り、

▷優勝・中城村和宇慶Aチーム

▷準優勝・西原町4区Aチーム

▷第3位・西原町13区チーム



完全燃焼し大満足です

第27回全国身体障害者スポーツ大会「ほほえみの石川大会」で、百メートル走に出場した玉那覇俊雄さん(字嘉手苺32番地の7)が念願の金メダルを獲得し、11月2日午前、町役場を訪れ、受賞の報告を行いました。

玉那覇さんは「夢であった金メダルをもらい大満足です。妻やみんなのお陰で完全燃焼した。今後は一本しかない足を大事にしたい」と喜びいっぱいに話していました。



しめやかに戦没者追悼式

町では、日露戦争以来、今次大戦にかけて戦争で犠牲になられた方々のみ霊のご冥福と恒久平和を願って、町戦没者追悼式が10月25日午後2時から、西原の塔で行われました。

同地には、歩兵第八十九連隊(元山部隊)の顕彰碑や昔陽会(元石部隊)の外地戦没者の碑などが建立されていることから、毎年、本土からも多く参加しています。

町遺族会を中心に、参加者約400人が諸英霊のご冥福と恒久平和を祈願しました。



玉城政光氏・教育学部長へ就任

去った10月、玉城政光氏(字津花波439-35)が琉球大学教育学部長に就任したことにより、町では就任激励会を11月1日午後7時からプリマ(2階)で開きました。

関係者約150人が出席する中で、玉城氏は「生きていく上では、環境が最も大切である。本町はよい環境にあるといえる。今後、琉大学内で学生らが研究をやりやすいように環境条件を整えたい」と話しました。

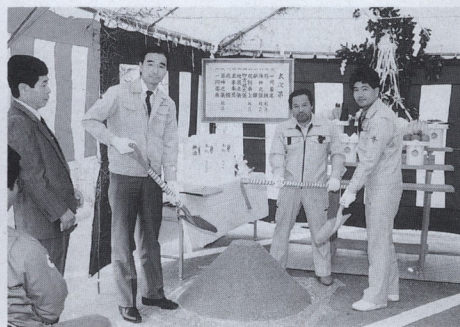


「まるで美術館のよう」

町文化協会美術工芸部会及び写真部会主催の第1回町美術工芸・写真展が、10月25日から27日までの3日間、町中央公民館で開かれました。

設立2年目の今年、会員の拡大と質の向上を目指すために行われ水彩・日本画・墨彩・油彩・彫刻など多数の秀作が展示され、観る人の心を和ませてくれました。

館内がまるで美術館のようでした。



安室～池田線安全祈願祭

安室～池田線道路改良工事の安全祈願祭が、10月16日午後、字桃園工事現場で行われました。

工事費約6千6百万円、延長191mを金秀建設株式会社(城間勇吉代表取締役)が施工し、平成4年3月竣工予定。

安室～池田線は、那覇市や南部方面を結ぶ一級幹線道路であり、車両の通行も多いため、今回の工事によって幅員も広くなり、交通安全対策が確保されるでしょう。



小さなドリームハウスのよう

琉球銀行西原支店(比嘉朝松支店長)は、10月21日から10月31日までの11日間、ロビーの一角を利用して、町内に住む女性約20人による趣味のパッチワーク作品展示を行いました。

地域と密着した銀行を目ざすため、お客様から要望が一番多かったものとして今回の展示になりました。中には3年がかりで仕上げた力作もあり、ロビーがまるで小さなドリームハウスのような感じでした。



大盛況のバザー

西原小学校PTA(屋宜宣太郎会長)は、バザーを10月20日午前同校体育館で開きました。

早朝から開館と同時にたくさんの会員が集り、引出物(せとものやバスタオルなど)や手づくりコーナー、文具コーナー、10円コーナーなどから、品物があつという間に売り切れ、にぎわいました。

なお、売上金の35万余円は、図書や音楽備品などを購入する予定。



「先生、もう終りなの、もっとやって」

子ども達が待ち望んでいた児童館まつりが、10月24日から26日までの3日間、町児童館で行われました。

まつり初日の24日は、コーナーあそび(ねんどコーナー・らくがきコーナー・魚釣りコーナーなど)、2日目の25日は、映学会や紙しばいコーナー、3日目の26日は人形劇公演などが行われ、どの子も満足顔でした。



町P連が宿泊研修

＝各单位PTA役員が情報交換を行い、お互いの信頼と協力の絆を深め、これからのPTA活動の活性化を図ろう＝と、町PTA連絡協議会(新川雅懼会長)では、10月5日～6日勤労者いこいの村おきなわ(名護市在)で、宿泊研修を行ないました。

宮城清さん(町学校教育課主幹)の「学力について」の講話や、各単Pから自由テーマの報告があり、よい情報交換の場となりました。



保健体育の研究が認められ表彰

西原東中学校(具志堅源三校長)が、11月7日全国学校体育研究大会全国大会(大分県)で、表彰されました。

バレーボールが盛んな同校は、平成元年県保健体育研究校に指定され、2年間の指導研究に功績が認められました。

特に、球技学習を中心に尽力された山田政和先生は「自分自身も大変勉強になった。これまでの成果を再確認しながら、今後も継続して取り組みたい」と話していました。おめでとうございます。



野球を通して親子のふれあい

町子ども会育成連絡協議会(上亀直一会長)では、10月20日午前西原小学校グラウンドで、親子野球大会を行いました。

秋空の下、親子野球を通して、親と子がふれあい、参加した6チームから坂田ハイツ子ども会が優勝、小波津ファイターズが準優勝にそれぞれ輝きました。

なお、優勝チームは、11月初旬嘉手納町で行われる中央大会に出場することになっています。



創立10周年記念式典の模様

ありん
ぐりん

創立10周年祝う

調和がとれ堅実にあゆむ西原東小

西原東小学校創立10周年記念式典が、十一月二日午後二時から、同校体育館で行われました。

式典の中であいさつした平安恒政期成会会長は「本校はスポーツ面や学力面など調和がとれている。これまで築いた歴史と校風を今後とも継承発展させてほしい」と述べました。

なお、式典では感謝状の贈呈が行われ、十五人の個人、十二社の企業、三団体が受賞されました。

なお、感謝状の受賞者は次の通り。
(敬称略)

▽歴代校長・與那嶺浩、城間

期一、新垣定信▽歴代PTA会長・小川良夫、呉屋厚雄、宮城次郎▽功労者・中村透、宮平光雄、新川千代子、平安恒政▽大口寄付(個人の部)城間哲男、平敷静男、新里吉一、伊波英子、宮里憲幸(企業の部)金秀グループ、(有東洋建設、東洋コンクリート(株)南西石油(株)、(株)丸政土建、三善建設(株)、中部製糖(株)、(有桃原建設、西原産業(資)、(株)東恩納組、(有)明生建設、琉球コンクリート(株)(団体の部)西原町給水工事指定店、西原町電設会、西原町農業協同組合



円内が外間美香さん

シリーズ

がんばってます⑦

しつかりものの

美香さん

トントンと玄関のドアをたたくと「はい、どなたですか」と歯切れのいい女の子の返事がありました。
事情を説明すると「はい、ちよつとおまち下さい」と言い、しばらくしたら「どうぞ」

とドアを開けてくれました。

そこには、外間美香さん

(字小波津四十四番地、六才)

と、そのお母さん(圭子さん)

が立っていました。見ると、

こちらからの説明や質問を一つひとつ手話でお母さんに伝

えているではありませんか。

美香さんは、現在西原幼稚園に通っている元気な園児で

す。両親が二重苦の障害(一級ろうあ者)を持ち、四才と

十カ月の弟がいる五人家族で

す。

家族の中でただ一人言葉が

話せる美香さんは、一才の時

から手話を両親から習い、今

では電話の応対や、外出の時

など、家族の代弁者として大

役を努めています。

お母さんのお手伝いが上手

な美香さんは「おわん洗いと

か、なるお(弟)を遊ばせた

り毎日やってるよ。おつかい

も一人で行けるよ」とときは

きと話してくれました。

むつかしい言葉も一語ずつ

手話通訳をするたのしい美

香さん、これからも家族のた

めにがんばってね。

区の紹介コーナー

児童公園の進入路 建設が急務

平 園 区

平園区は、人口千二百十七人で三百三十四世帯（十月末現在）の部落です。

これまでの九区から新行政区へ移行する際、区の名称が区民からの公募によって「平園」に決まりました。

婦人会が早めに再建される



ことを望んでいるという事務担任者の新城良一さんは「現在町に対し、児童公園の進入路建設と道路整備を要請している。平園区は、これからの部落なので、初心の気持ちでがんばりたい」と話していました。

明るい部落にしたい

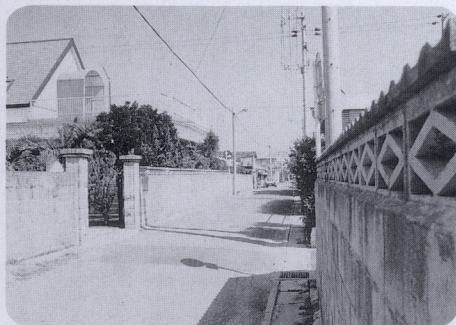
兼 久 区

兼久区は、人口千八百四十一人、五百二十三世帯で、翁長、我謝、小那覇に次ぐ町内四番目に大きな部落です。

以前から、部落全体の協力体制づくりがむつかしく、青年会活動の沈滞も伴って、部落全体のムードづくりが必要といわれています。

一番地と百番地が多いため配布業務に時間がかかるという事務担任者の永山盛昭さん

は「むつかしい部落ではあるが、立て直しをしたい。できれば、ユーモアのある明るい部落にしたいですね」と話していました。



新転入者の協力がほしい

与 那 城 区

与那城区は、人口千三百四十一人の三百七十七世帯の部落です。

旧部落当時から行事は多

いが、区民は協力的です。新築住宅やアパート建設が近年特に多く、部落全体人口の三分の一は、アパート入居者となっています。

新しく転入した方の協力がほしいと語る事務担当者の小橋川捷吉さんは「部落所有地の未解決分について、できるだけ取り組みたい」と話していました。



こんにちは
“ひとこと” ②

西原小学校 六年

國場絵梨子さん

雲仙・普賢岳災害義援金を集めようと最初に考え、各学級の代表役員会で話し合い、わずか二週間で十万余円を全校生徒から募ったと話す國場絵梨子さんは「西小の良い点は、全校生徒が明るくてハキハキしているところです。でも、最近ケガをする人が多いので、クリーン作戦をし、ろうかななどに危険なものを置かないように取り組んでいます」と、話してくれました。

西原町民新春かきぞめ大会参加募集

主旨： 古代より1月2日に行われている新年の願いを筆に託する筆初めの伝統文化を継承することにあります。

募集要項

- 主催 西原町文化協会書道部会
- 日時 平成4年1月5日(日)
午前9時～12時、児童生徒～中学生
(同日作品展示と審査発表)
午後2時～5時 高校生～成人
- 会場 西原町民体育館
- 会費 無料、但し道具及び消耗品各自持参、児童生徒～中学生 100円(紙代) 道具持参
- 課題 自由、但し児童生徒学校宿題、添削指導致します。
- 申込み 12月1日より年末、年始を除き当日まで受付けます。
西原町文化協会事務局 ☎(945-3655)
か又は書道部会 ☎(946-4192)

西原町学推協実践活動合同発表会へ

多くの方々のご参加をお待ちしています

平成3年度の西原町学推協の発表会を次のとおり開催します。

1. 日 時 12月7日(土)13:30～16:45

2. 場 所 西原町中央公民館

3. 発表内容

(1) 標準学力検査にみる西原町児童・生徒の実態について

(2) 学力向上にむけての各学校の取り組み

①西原幼稚園(発表者 津波古智子教諭)

②坂田小学校(発表者 宮城たみ子教諭)

③西原東中学校(発表者 新垣正祐教諭)

※そのほか幼稚園、小・中学校は紙上発表

(3) 地域支部の活動について

①小波津支部(発表者 城間虎雄会長)

②西原ハイツ支部(発表者 平良健二会長)

③県営西原団地支部(発表者 比嘉京子)

多数の町民が参加し、地域ぐるみで子どもたちの学力向上への取り組みを推進しましょう。

お知らせ
でーびる



案内・募集

訓練生募集

- 1. 訓練科名 自動車整備科 電気機器科 建設機械整備科 O A事務科 システム組版科 溶接科 建築左官科
- 2. 募集期間 平成3年11月1日(金)～平成3年12月20日(金)
- 3. 訓練期間 平成4年4月9日～平成5年3月10日(1ヶ年)
- 4. 授業料 無料
- 5. 入校資格 高等学校卒業者(卒業見込者含む)又はこれと同等以上の学力を有する者で、年齢25歳未満(保険受給者を除く)の者
- 6. 問い合わせ先 沖縄県立浦添職業訓練校
電話 878-5627
879-2560

今年がいよいよ 国民年金 沖縄特例の届出は12月までに

最後のチャンス!

納付期限(平成四年三月三十一日)が迫っています。届出が遅れますと、納付書発送が間に合わなくなり、納付できない場合も予想されます。年金は本人が死亡するまで一生受けられますので、総額にすると大きな差がでます。この最後のチャンスをおさずに出がまだの方は金融機関へお急ぎ下さい。

納付期限迫る!

ウチナーびけーんの
年金やいびーん
よーんなーいすじみ
そうりよー



わたしたちは、緑を豊かにし、美しいまちをつくりましょう。(町民憲章)

国民健康保険の医療費について

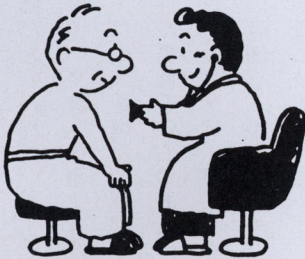
高齢化社会を迎えつつある中で年々医療費も伸びています。私たちは健康にいるときは、健康のありがたさ、尊さをあまり感じないではないでしょうか。

健康だから国保は必要ないとか、税より実費で支払ったほうが安くつくという声もないわけではありませんが、私たちはできれば生涯健康で過ごしたいものです。しかし、いつ病気やケガをするかわかりません。

国保はお互い病気やケガをした場合、助け合って行くという制度です。

国保の医療費は、税と病院などで支払う個人負担と国などからの補助金等でまかなわれております。ですから医療費の伸びが大きいとその分医療費も多く出ることは当然です。それを補なうのは税にたよるほかありませんので医療費が大きければ必然的に税も上って行きます。

また、日頃から一人ひとりが健康づくりをすることによって医療費の伸びをおさえることができるのです。



※詳しくは、町国民健康保険課へ

平成 4 年 1 月 1 日から実施される

地価税ってどんな税

キャンペーン
国税庁

地価税のしくみ

土地等の価額の合計額
(非課税土地等を除く)

基礎控除額 (最低額)
個人・中小会社等 15 億円
大会社 10 億円

× 税率 = 地価税額

○ 地価額は、個人や法人がその年の 1 月 1 日において保有する土地等 (非課税の土地等を除く) を対象として、課税されます。

○ 土地等の価額は、その年分の相続税評価額により評価します。

○ 課税対象の土地等の価額の合計額が基礎控除額以下の場合には、課税されません。

地価税の対象となる「土地等」には

○ 「土地」と「借地権等」(借地権、地上権、いわゆる耕作権など) があります。

非課税の土地等

地価税は、居住用建物の敷地や公益的な用途に供されている土地等には課税されません。

申告と納付の手続きは

課税される土地等の価額の合計額が基礎控除額を超える場合には、地価税の申告が必要になります。

平成 4 年分の地価税の申告書は、11 月 16 日から 12 月 15 日まで (平成 5 年からは、10 月 1 日から 10 月 31 日まで) の間に納税地の税務署に提出していただくことになります。

地価税の納付税額は、申告書の提出期限までにその 2 分の 1 を、残額を翌年の 3 月 31 日までに 納付していただくことになります。

詳しいことは、最寄りの税務署の資産税部門又は税務相談室にお尋ねください

北那覇税務署 TEL 877-1324

寄付・香典返し

▽ 津花波三十六番地、與那嶺カメさんがカジマヤー (白寿) を記念して町社協へ十万円、町老ク連へ五万円。
▽ 翁長四百六十二番地、新川ナへさんが米寿 (八十八歳) を記念して町人材育成会へ十万円。
▽ 元石部隊第一独歩うるま会から、永代志納金として町へ百万円。
▽ 我謝百九十七番地、奥浜ウシさんがカジマヤー (白寿) を記念して町人材育成会へ五万円。
▽ 小橋川四十六番地、大城為義さんが、故妻静子の香典返しとして町社協へ十万円。

しとして町社協へ五万円。
▽ 翁長四百五十四番地の十四、阿波根ヨシさんが、故二男正さんの香典返しとして町社協へ十万円。
▽ 我謝二百四十一番地の三十六、安里昌市さんが、故父昌盛さんの香典返しとして町社協へ五万円。
▽ 幸地二百四十番地、與那嶺正榮さんが、故父正一さんの香典返しとして町社協へ十万円。
▽ 我謝八百一番地、宮平政子さん (四女) が、故母吉元カメさんの香典返しとして町社協へ十万円。



12 月 9 日 (日)

場 所：西原町中央公民館

時 間：午後 3 時・7 時

入場料：700 円 (当日 1,000 円)

主 催：西原町教育委員会・町中央公民館

前売券の問い合わせ 945-3657 (中央公民館)

平成 4 年 年始会：平成 4 年 1 月 4 日 (土) 午後 4 時 町中央公民館

12月(DEC)行事・祭事予定

- 1日(日) ○西原東中学校文化祭
- 3日(火) ○ツ反 9:30 町中央公民館
- 4日(水) ○心配ごと相談 14:00 社会福祉センター
- 5日(木) ○BCG 9:30 町中央公民館
- 6日(金) ○町社協食事サービス 10:00 町中央公民館
- 7日(土) ○町学推協実践活動合同発表会 13:30 町中央公民館
○ムービーづくり 13:00 児童館
- 8日(日) ○乳児一般健診 9:00、13:00 町中央公民館
- 11日(水) ○心配ごと相談 14:00 社会福祉センター
○挑戦大会 15:00 児童館
- 13日(金) ○町社協食事サービス 10:00 町中央公民館
○3歳児健診 13:30 社会福祉センター
- 14日(土) ○DPT 13:00 町中央公民館
○町役場閉庁
- 18日(水) ○心配ごと相談 14:00 社会福祉センター
○年賀状づくり 15:00 児童館
- 19日(木) ○1歳半健診 13:30 町中央公民館
- 20日(金) ○町社協食事サービス 10:00 町中央公民館
- 21日(土) ○クリスマス会 14:00 児童館
- 25日(木) ○心配ごと相談 14:00 社会福祉センター
○ビデオ会 10:00、14:00 児童館
- 27日(金) ○官庁御用納め
○町社協食事サービス 10:00 町中央公民館

女性コーナー 連載7

男女の役割分担について(5)

家事労働の社会的評価

企画課 安里 英子

今回は、家事労働の社会的評価について述べてみましょう。

まず家事労働についてですが、これは人間が家庭生活を営んでいく以上、誰かが荷を負わなければならないものです。ですからこれまで支払われない労働といわれてきた家事(育

児、介護も含む)についても十分に光があてられ、評価されるべきでしょう。ただしその場合、女性が外で働らくための社会的条件整備が十分にできており、その上で女性自身が家庭内の労働を選ぶか、家庭外の労働を選ぶことができるかの選択の自由ができる

ことが前提でしょう。とくに近年問題にされているのが子供の養育や高齢者の介護などのケア・ワークについての評価だといわれています。それについては「仕事よりはケア・ワークを進んで選択する女性や男性もいるであろう。したがってケア・ワークを正當に評価し、年金制度のなかに明確に位置づけていくことが必要である」(『法女性学』金城清子著)との意見もあります。また、「ここでは、くわしくは述べられませんが、国連の『女

子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約』にも「親が家庭責任と職業上の責務及び社会的活動への参加を両立させることを可能とするために必要な補助的な社会的サービスの提供を……」とうたわれています。また、同じ国連のILO(国際労働機構)でもいくつかの提案がなされています。さらに国内の夫婦財産制についてもさまざまに議論がなされているようです。



救急救命士

患者が病院や診療所に着くまでの間に行われる応急処置は、患者の生命を大きく左右します。

こうした搬送途上の医療を確保するため、搬送途上において、医師の指示の下に高度な応急処置を行うことのできる、新たな資格制度を定めた「救急救命士法」が、今年の四月に制定されました。

救急救命士は、医師の指示の下、搬送途上の傷病者に対して、気道確保や心拍の回復などの救急救命処置を行います。

救急救命士になるためには、救急救命士国家試験に合格し、厚生大臣の免許を受けなければなりません。試験の受験資格は、原則として高校卒業後、二年以上、救急救命士として必要な知識および技能を修得した人ですが、一定の実務経験を有する救急隊員については、特別の規定が設けられています。

なお、救急救命士法には、高度の救急救命処置を行うには、医師の具体的な指示が必要である、原則として救急用自動車など以外の場所では、業務を行えないなどが規定されています。